

# 東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成20年7～9月期

## 【今回調査のポイント】

- ・ 中小企業の景況感は前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも、6期連続でマイナス幅が拡大した。(1、2ページ参照)
- ・ 「民間金融機関の貸出姿勢D I」が前年同期比、今期水準ともに、全ての業種でマイナス幅が拡大している。(9、10ページ参照)

○調査項目	1. 業況	: 1ページ
	2. 売上	: 3ページ
	3. 採算(経常利益)	: 5ページ
	4. 資金繰り	: 7ページ
	5. 民間金融機関の貸出姿勢	: 9ページ

## 【調査の概要】

○調査期間：平成20年8月27日～9月2日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,424社

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：903社(回答率37.3%)

※有効回答企業の業種別構成

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| ・製造業 266社(29.5%) | ・建設業 107社(11.8%)   | ・小売業 128社(14.2%) |
| ・卸売業 144社(15.9%) | ・サービス業 258社(28.6%) |                  |

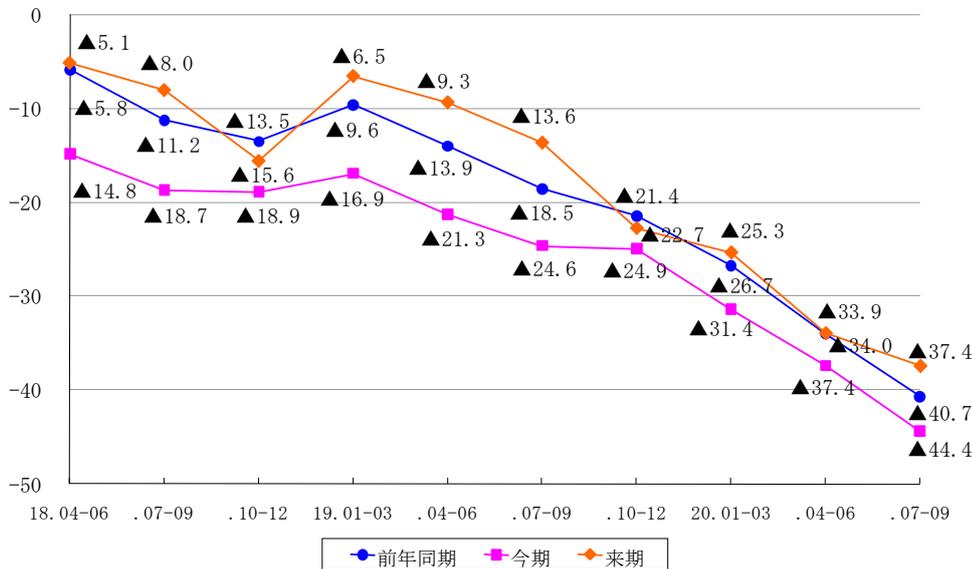
平成20年10月

東京商工会議所 中小企業部

# 1. 業況

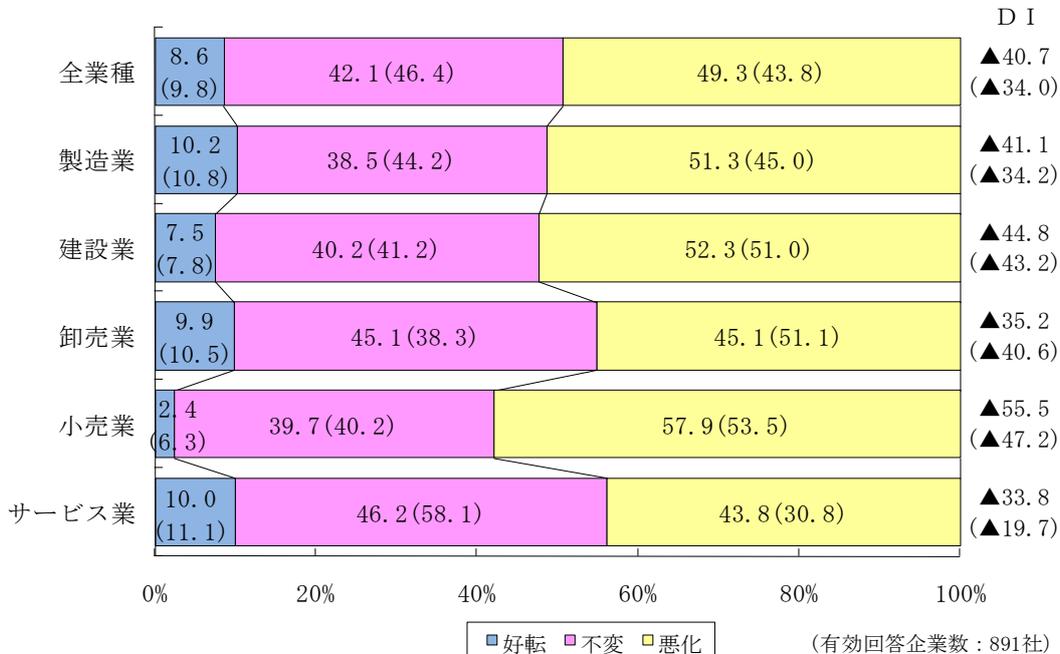
○全業種の「業況DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも、6期連続でマイナス幅が拡大した。

業況DIの推移（全業種）



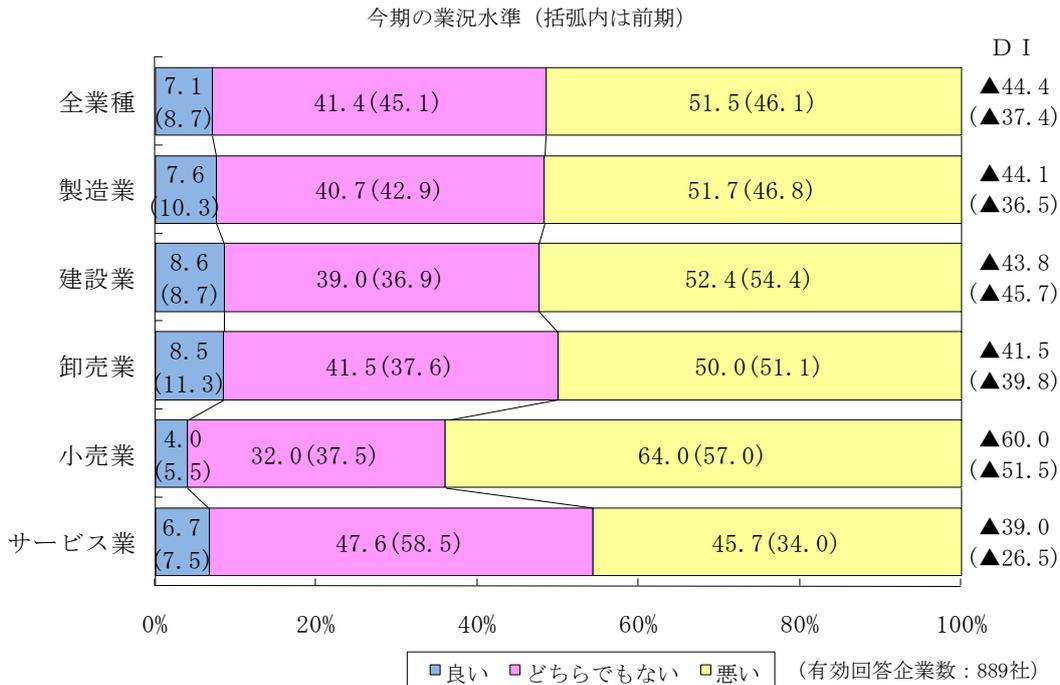
【質問1】前年同期（平成19年7～9月期）と比べた今期（平成20年7～9月期）の業況（自社）はどうか。

前年同期と比べた今期の業況（括弧内は前期）



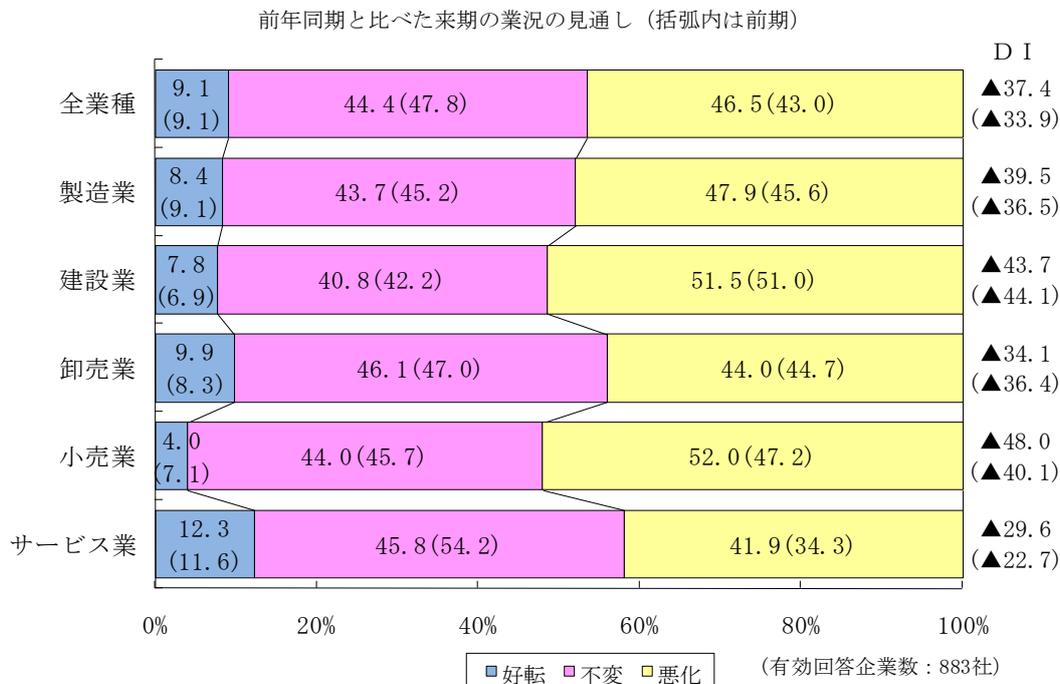
- 全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲40.7（前期比▲6.7ポイント）となり、6期連続でマイナス幅が拡大した。
- 卸売業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に小売業が▲55.5と極めて低い水準となった。またサービス業が▲33.8（前期比▲14.1ポイント）とマイナス幅が拡大した。一方で卸売業は▲35.2（前期比+5.4ポイント）とマイナス幅が縮小した。

【質問2】 今期（平成20年7～9月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準DI」は▲44.4（前期比▲7.0ポイント）となり、6期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・建設業を除く全業種においてマイナス幅が拡大した。特に小売業は「悪い」と回答した企業が64.0%にのぼり、▲60.0（▲8.5ポイント）と極めて低い水準となった。また、サービス業が▲39.0（▲12.5ポイント）となりマイナス幅が大きく拡大した。

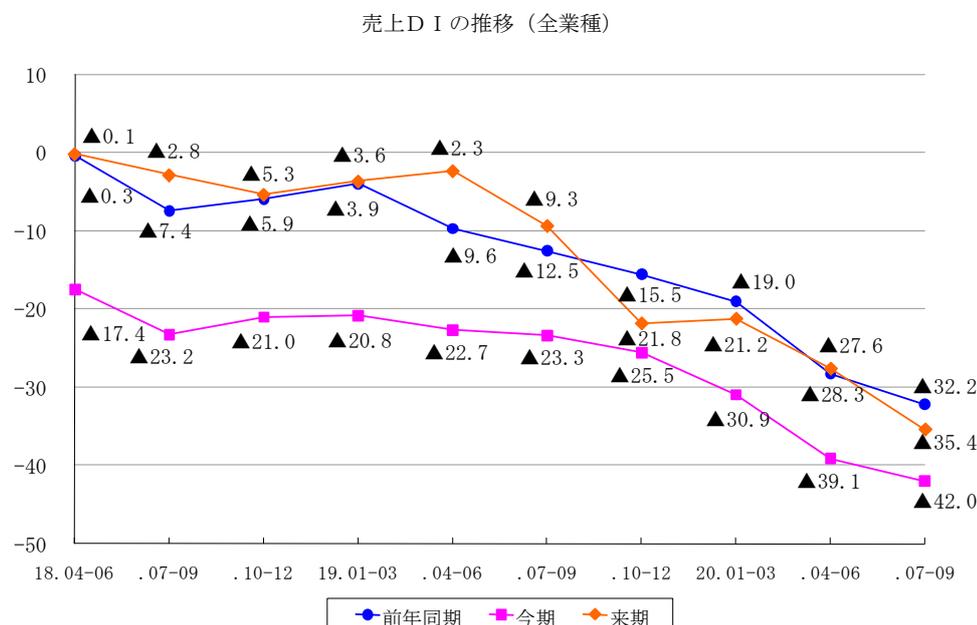
【質問3】 前年同期（平成19年10～12月期）と比べた来期（平成20年10～12月期）の業況（自社）の見通しはどうか。



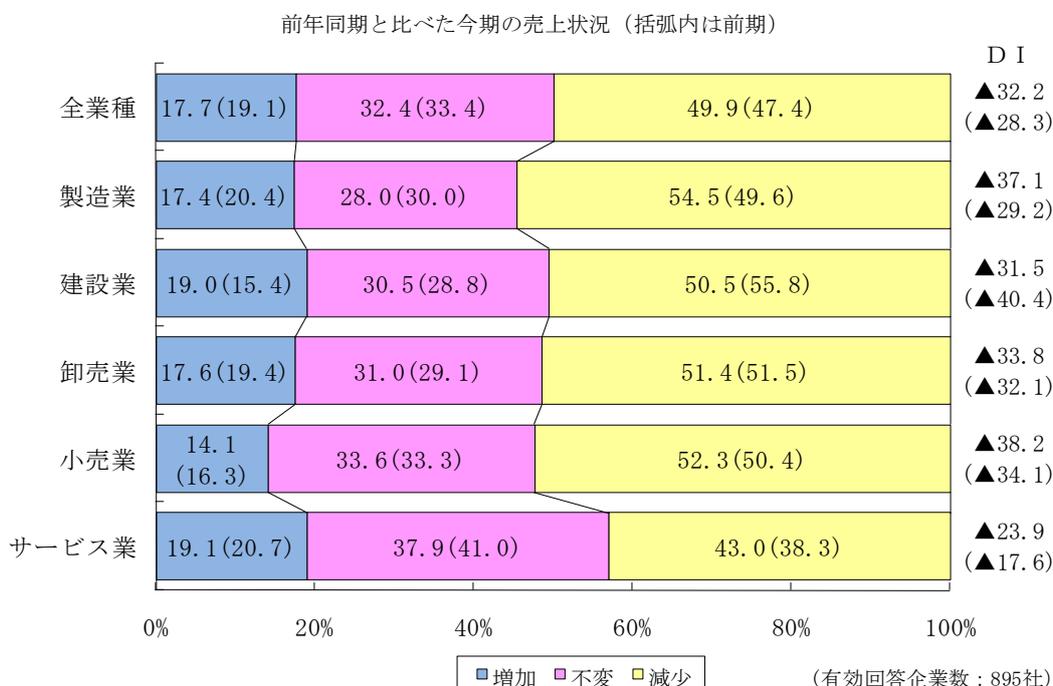
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通しDI」は▲37.4（前期比▲3.5ポイント）となり、6期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみると、製造業、小売業、サービス業のマイナス幅が拡大し、建設業、卸売業のマイナス幅が縮小した。

## 2. 売上

○全業種の「売上DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が拡大した。特に「今期の売上水準DI」は▲42.0（前期比▲2.9ポイント）となり、6期連続でマイナス幅が拡大し、低い水準となった。

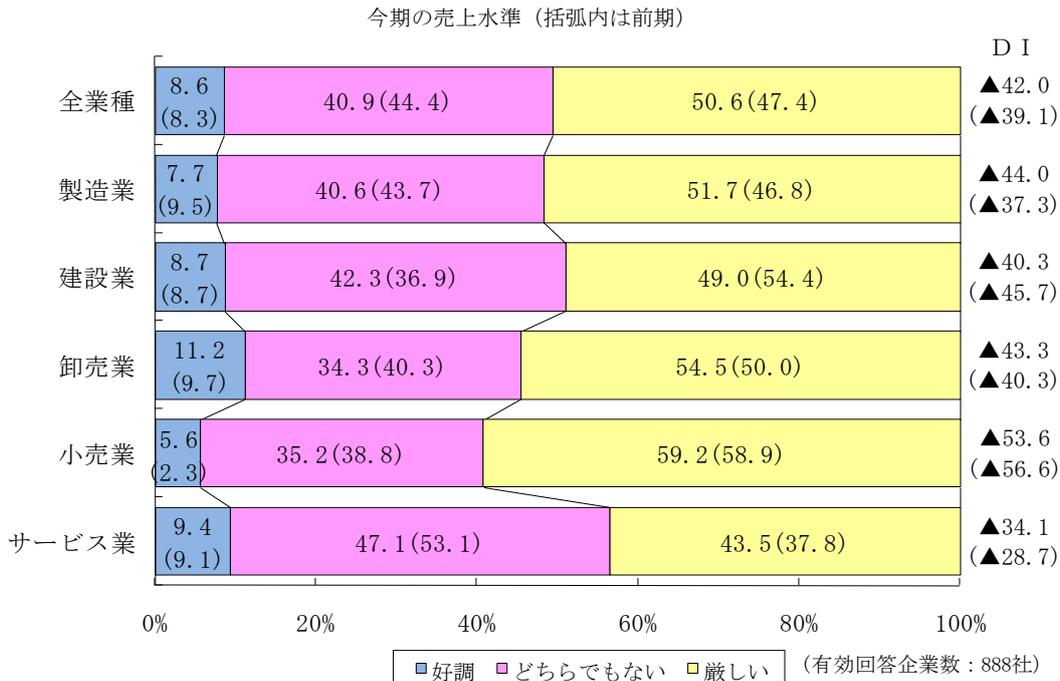


【質問4】前年同期（平成19年7～9月期）と比べた今期（平成20年7～9月期）の売上状況はどうですか。



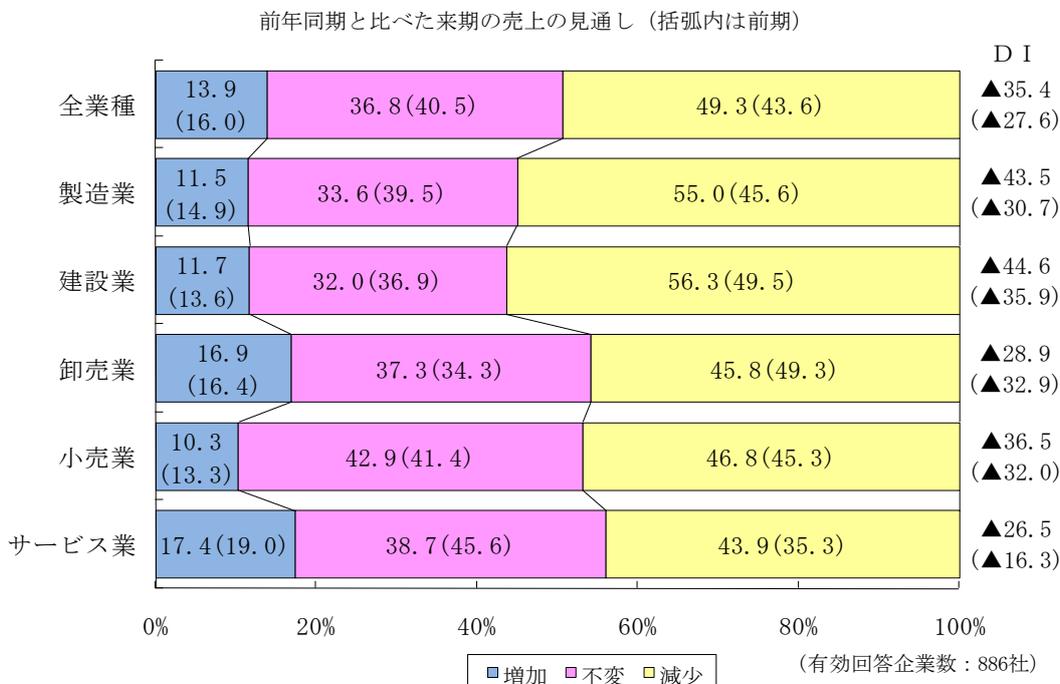
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲32.2（前期比▲3.9ポイント）となり、6期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・建設業を除く全業種においてマイナス幅が拡大した。特に、製造業が▲37.1（▲7.9ポイント）となりマイナス幅が拡大した。一方で、建設業は▲31.5（+8.9ポイント）となりマイナス幅が縮小した。

【質問5】 今期（平成20年7～9月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は▲42.0（前期比▲2.9ポイント）となり、6期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみると、製造業、卸売業、サービス業のマイナス幅が拡大し、建設業、小売業のマイナス幅が縮小した。

【質問6】 前年同期（平成19年10～12月期）と比べた来期（平成20年10～12月期）の売上の見通しはどうか。

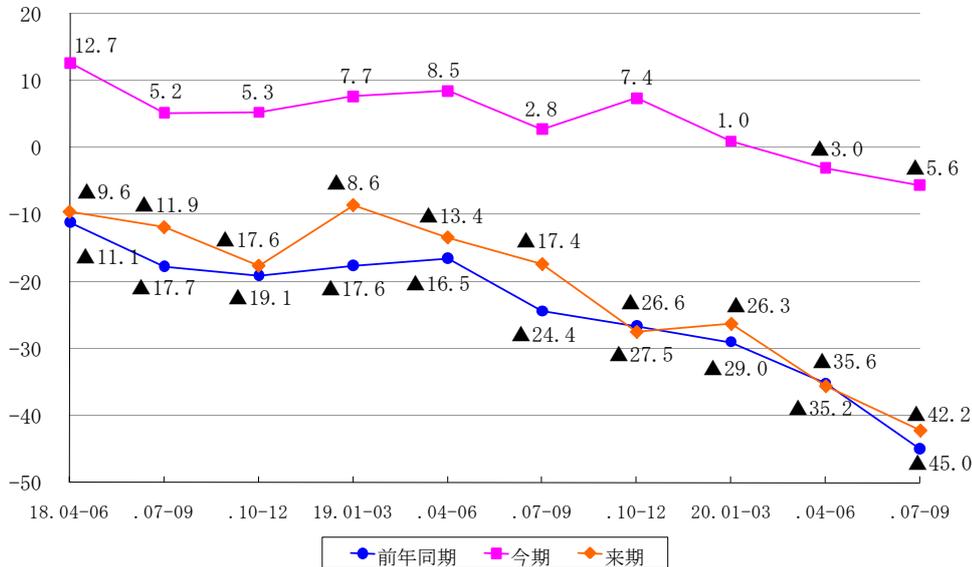


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は▲35.4（前期比▲7.8ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、卸売業を除いた全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に、製造業、サービス業のマイナス幅は10ポイント以上拡大した。

### 3. 採算（経常利益）

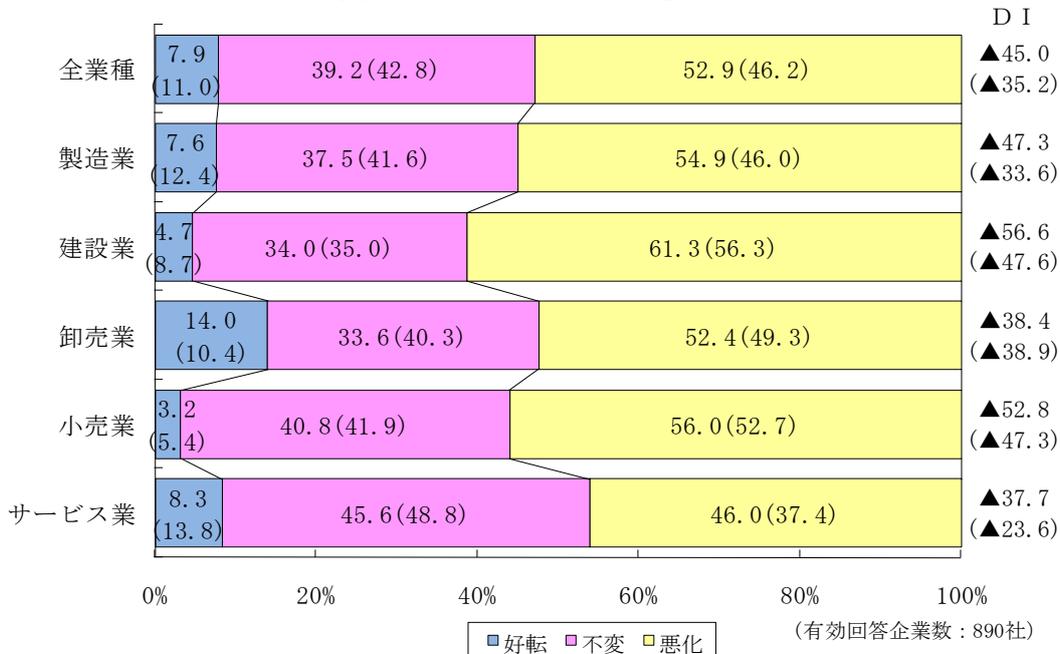
○全業種の「採算DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が拡大した。特に「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲45.0（前期比▲9.8ポイント）となり、5期連続でマイナス幅が拡大した。

採算DIの推移（全業種）



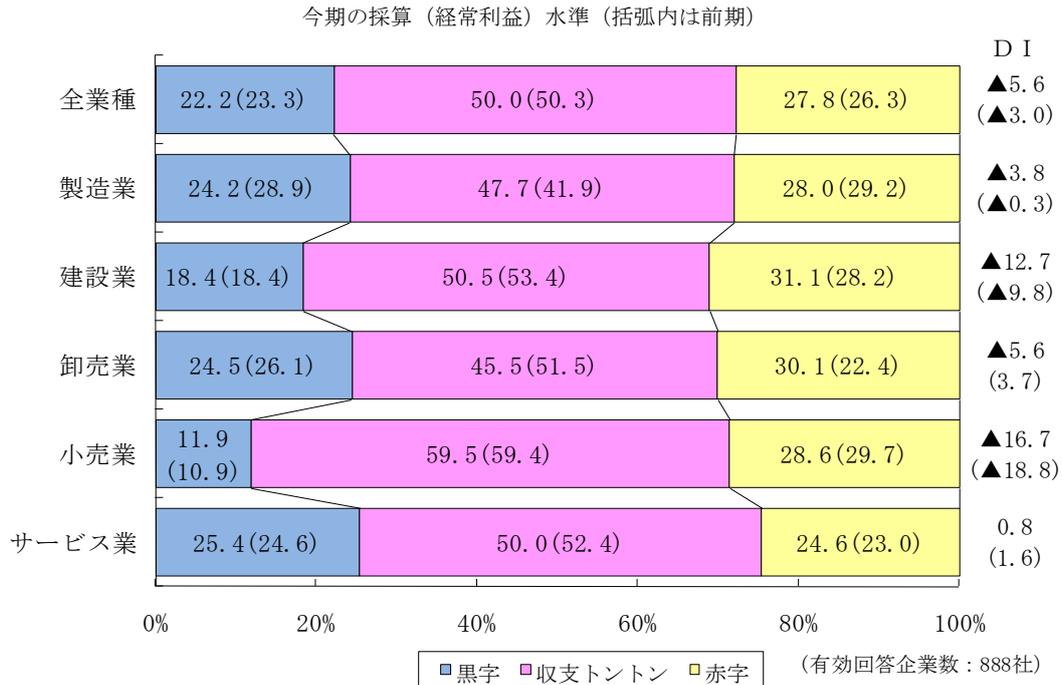
【質問7】前年同期（平成19年7～9月期）と比べた今期（平成20年7～9月期）の採算（経常利益）状況はどうか。

前年同期と比べた今期の採算（経常利益）状況（括弧内は前期）



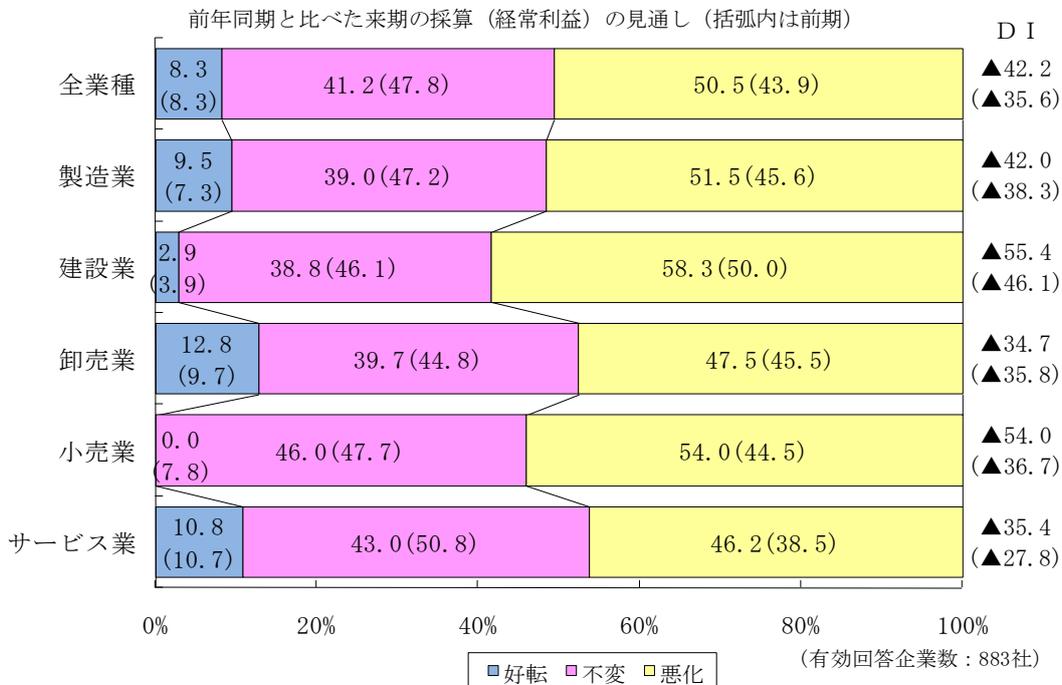
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲45.0（前期比▲9.8ポイント）となり、5期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、製造業、サービス業が10ポイント以上、建設業が10ポイント近くマイナス幅が拡大した。また建設業、小売業が極めて低い水準となった。

【質問8】 今期（平成20年7～9月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準DI」は3期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、サービス業はかろうじてプラス、卸売業は▲5.6（前期比▲9.3ポイント）とマイナスに転じ、製造業、建設業のマイナス幅が拡大した。一方で小売業はマイナス幅が若干縮小したが依然として低水準にとどまっている。

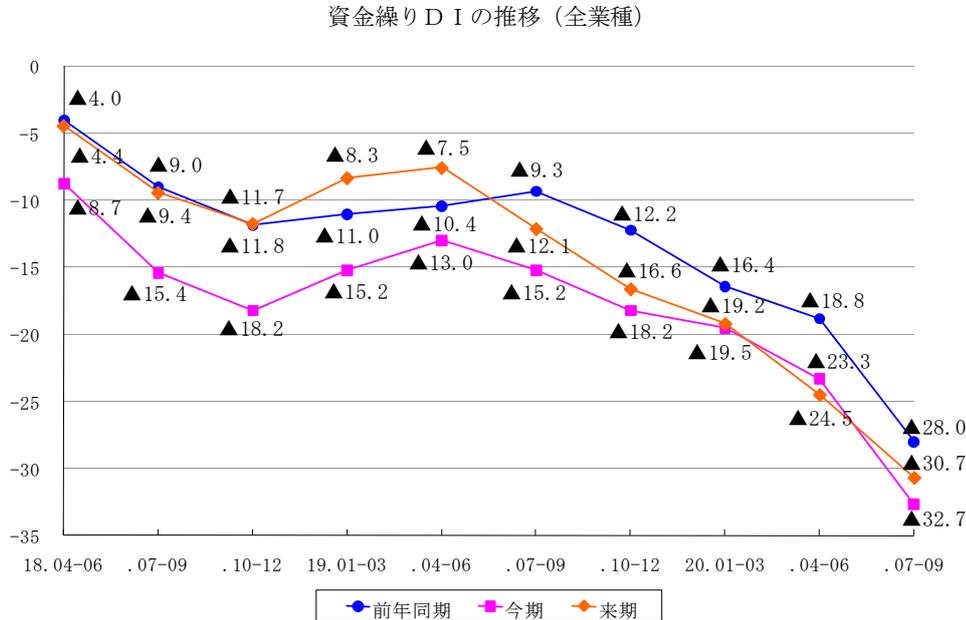
【質問9】 前年同期（平成19年10～12月期）と比べた来期（平成20年10～12月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。



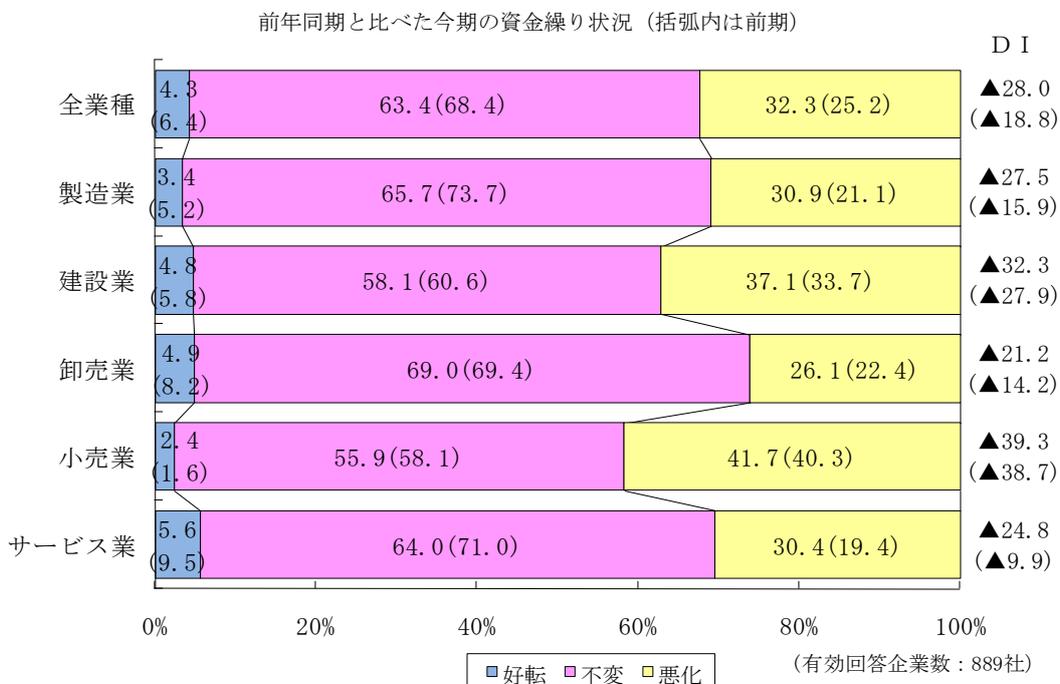
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は▲42.2（前期比▲6.6ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、卸売業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に、小売業は好転すると答えた企業がゼロで▲54.0（前期比▲17.3ポイント）、また建設業も▲55.4（前期比▲9.3ポイント）と厳しい見通しとなった。

## 4. 資金繰り

○全業種の「資金繰りDI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が拡大した。特に「今期の資金繰り水準DI」は▲32.7（前期比▲9.4ポイント）となり、5期連続でマイナス幅が拡大した。

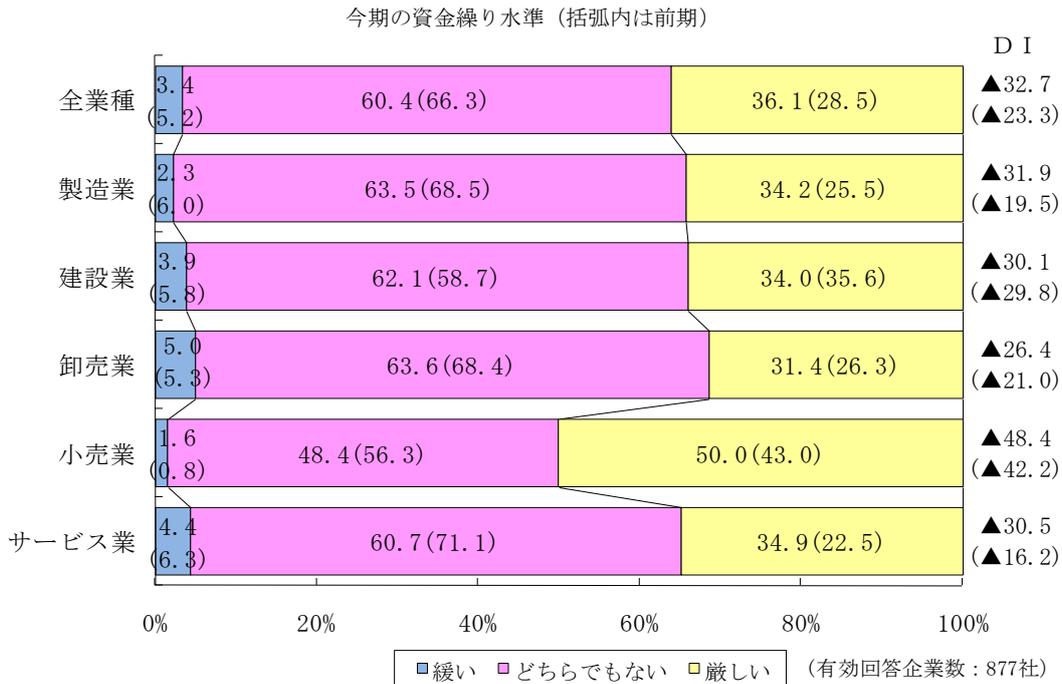


【質問10】前年同期（平成19年7～9月期）と比べた今期（平成20年7～9月期）の資金繰り状況はどうか。



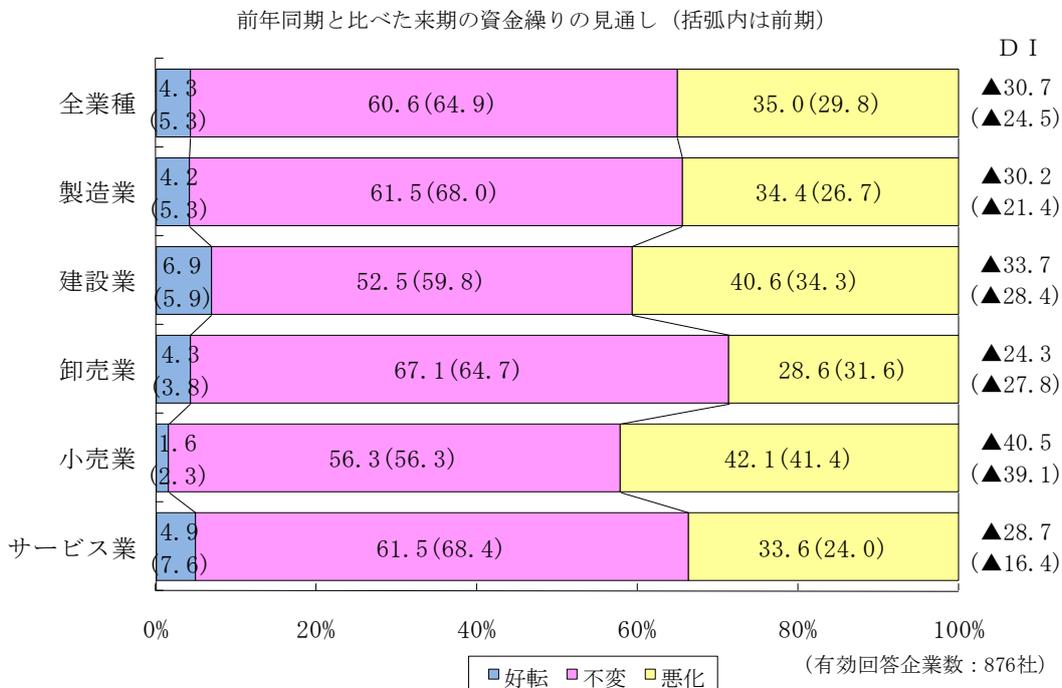
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲28.0（前期比▲9.2ポイント）となり、4期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみると全ての業種でマイナス幅が拡大した。製造業、サービス業でマイナス幅が10ポイント以上拡大した。

【質問 1 1】 今期（平成 20 年 7～9 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準 DI」は▲32.7（前期比▲9.4 ポイント）となり、5 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみると全ての業種でマイナス幅が拡大した。製造業、サービス業でマイナス幅が 10 ポイント以上拡大した。小売業は半数が厳しいと回答している。

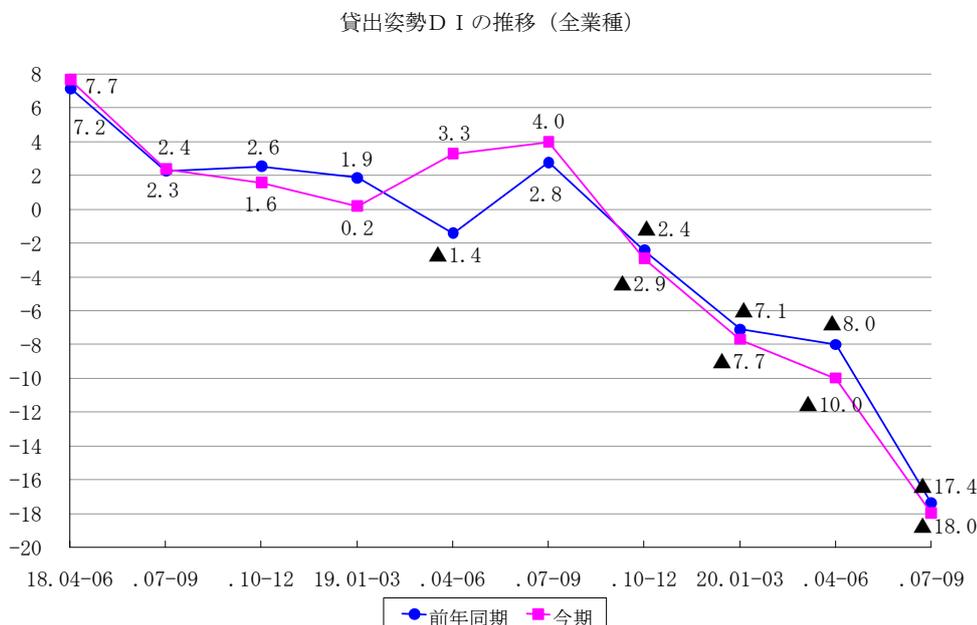
【質問 1 2】 前年同期（平成 19 年 10～12 月期）と比べて来期（平成 20 年 10～12 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



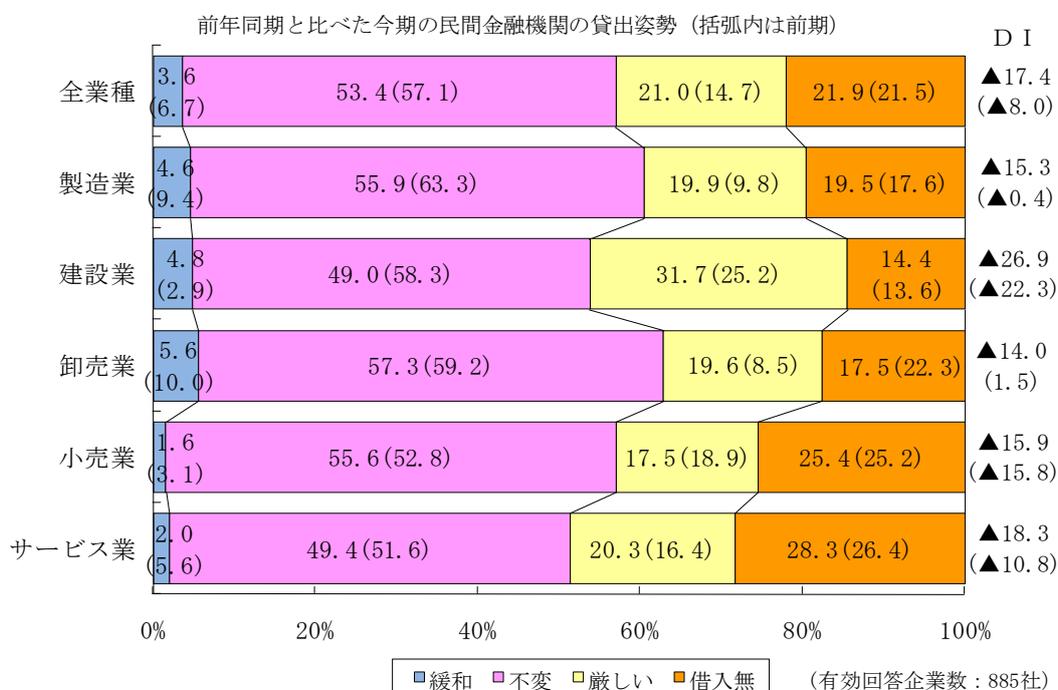
- ・全業種の「前年同期と比べて来期の資金繰り見通し DI」は▲30.7（前期比▲6.2 ポイント）となり、5 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみると全ての業種でマイナス幅が拡大した。特にサービス業は 10 ポイント以上マイナス幅が拡大した。

## 5. 民間金融機関の貸出姿勢

○全業種の「民間金融機関の貸出姿勢DI」は、前年同期比、今期水準ともに、4期連続でマイナス幅が拡大した。

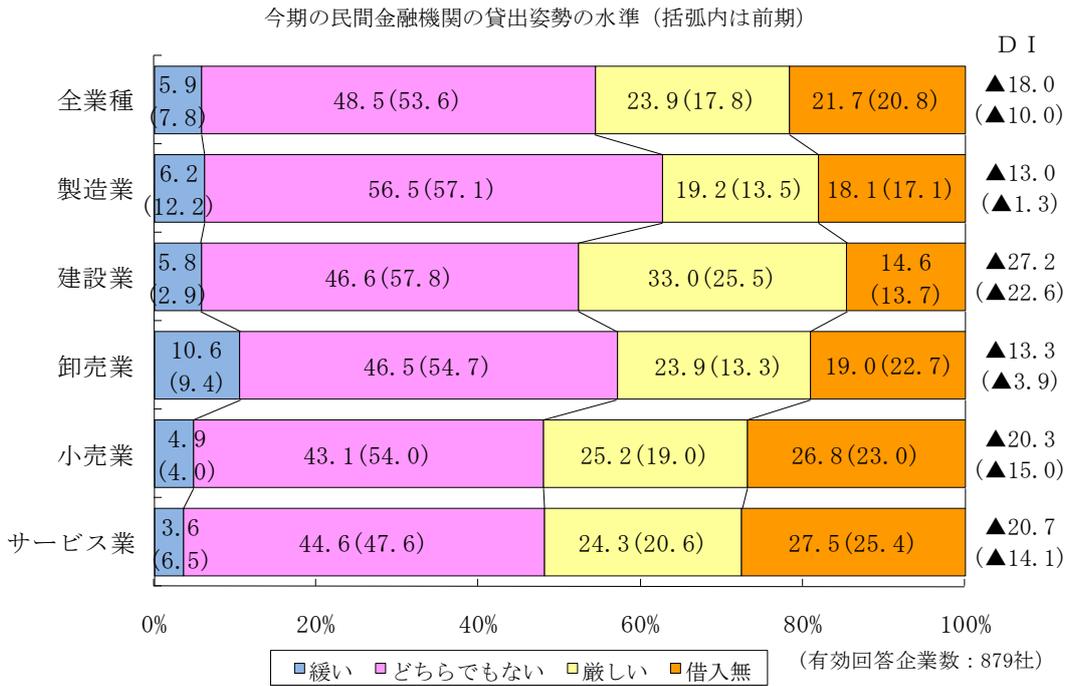


【質問13】今期（平成20年7～9月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、前年同期（平成19年7～9月期）と比べて変化がありましたか。



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲17.4（前期比▲9.4ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみると全ての業種でマイナス幅が拡大した。製造業、卸売業が15ポイント前後マイナス幅が拡大した。

【質問 1 4】今期(平成 20 年 7~9 月期)の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲18.0（前期比▲8.0ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、全ての業種でマイナス幅が拡大し、特に製造業は10ポイント以上マイナス幅が拡大した。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成20年4月~6月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。